

## 黒潮町集落排水処事業

団 体 名 : 高知県黒潮町

事 業 名 : 漁業集落排水事業

策 定 日 : 平成 29 年 2 月

計 画 期 間 : 平成 29 年度 ~ 平成 38 年度

## 1. 事業概要

## (1) 事業の現況

## ① 施設

供用開始年度 (供用開始後年数)	鈴地区:平成13年度(16年)	法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	法非適用企業
処理区域内人口密度	85.0人/ha	流域下水道等への 接 続 の 有 無	無し
処 理 区 数	1処理区		
処 理 場 数	1処理場		
広域化・共同化・最適化 実施状況*1	実施していない。		

\*1 「広域化」とは、一部事務組合による事業実施等の他の自治体との事業統合、流域下水道への接続を指す。

「共同化」とは、複数の自治体で共同して使用する施設の建設(定住自立圏構想や連携中枢都市圏に基づくものを含む)、広域化・共同化を推進するための計画に基づき実施する施設の整備(総務副大臣通知)、事務の一部を共同して管理・執行する場合(料金徴収等の事務の一部を一部事務組合によって実施する場合等)を指す。

「最適化」とは、①他の事業との統廃合、②公共下水・集排、浄化槽等の各種処理施設の中から、地理的・社会的条件に応じて最適なものを選択すること(処理区の統廃合を含む。)、③施設の統廃合(処理区の統廃合を伴わない。)を指す。

## ② 使用料

一般家庭用使用料体系の 概 要 ・ 考 え 方	使用料の額は、毎使用月において使用者が排除した汚水量に対し、下記に定める額によって算出された合計額に消費税を加算して徴収する。 基本料金 10㎡まで1,904円 超過料金は1㎡につき171円				
業務用使用料体系の 概 要 ・ 考 え 方	無し				
その他の使用料体系の 概 要 ・ 考 え 方	無し				
条 例 上 の 使 用 料 *2 ( 2 0 ㎡ あ た り ) ※ 過 去 3 年 度 分 を 記 載	平成25年度	3,614 円	実 質 的 な 使 用 料 *3 ( 2 0 ㎡ あ た り ) ※ 過 去 3 年 度 分 を 記 載	平成25年度	4,473 円
	平成26年度	3,614 円		平成26年度	4,380 円
	平成27年度	3,614 円		平成27年度	4,431 円

\*2 条例上の使用料とは、一般家庭における20㎡あたりの使用料をいう。

\*3 実質的な使用料とは、料金収入の合計を有収水量の合計で除した値に20㎡を乗じたもの(家庭用のみでなく業務用を含む)をいう。

③ 組織

職 員 数	無し
事 業 運 営 組 織	黒潮町 担当部局:海洋森林課

(2) 民間活力の活用等

民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託 (包括的民間委託を含む)	無し
	イ 指定管理者制度	無し
	ウ PPP・PFI	無し
資 産 活 用 の 状 況	ア エネルギー利用 (下水熱・下水汚泥・発電等) *4	無し
	イ 土地・施設等利用 (未利用土地・施設の活用等) *5	無し

\*4 「エネルギー利用」とは、下水汚泥・下水熱等、下水道事業の実施に伴い生じる資源(資産を含む)を用いた収入増につながる取組を指す。

\*5 「土地・施設等利用」とは、土地・建物等、下水道事業の実施に不可欠な資産を用いた、収入増につながる取組を指す(単純な売却は除く)。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

※直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」(公営企業三課室長通知))による経営比較分析表を添付すること。

※添付した「経営比較分析表」に補足事項等がある場合は記載すること。

--

## 2. 経営の基本方針

当該事業における施設建設費の償還は平成40年度に完了する。

それまでは大口のメンテナンス費を抑えつつ、現状の汚水処理サービス水準を維持していくのが町の考えである。

町としては可能な限り事業収支の赤字幅を小さくし、町からの繰入金を抑えたい思いがある。

事業の存続を図る上では、より健全な事業収支の実現、それに向けた取組は不可避である。

そのためには事業収支においては少なくとも「修繕費を除いた汚水処理費を使用料収入で賄える状況」にすべきと考える。そのために利用料金の値上げは有力な案の一つであり、具体的な内容について検討を始めなければならない。

## 3. 投資・財政計画(収支計画)

### (1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

※ 赤字がある場合には(3)において、その解消方法が示されていることが必要

### (2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

#### ① 収支計画のうち投資についての説明

基本的に新たな投資は行わない。現状の施設、設備で対応する。

ただし、今後、現状のサービスを維持するために、最低限の設備高進、メンテナンスは行う。それでも多額の修繕費を要する場合は、実施年度を調整し、年度毎の負担を抑えるべく調整を行う。

#### ② 収支計画のうち財源についての説明

使用者が減少傾向に有り、これに伴い使用料収入も減少することが予想される。そのため使用料収入を一定額(少なくとも平成27年度水準)確保するためには、使用料金の値上げを検討せざるを得ない。

#### ③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

基本的に事業収支は赤字でも、一定数の使用者がいる限り施設の稼働は止められない。よって恒常的に施設の稼働費、維持管理費は発生する。それゆえ事業に伴う施設、設備の維持管理(例えば管路の修繕、モーター等の修理等)に必要なれば応分の投資は行う。

動力費や薬品費は適正な運用により現状維持に努める。

委託費に関しても業者への委託費は現状の内容を維持する。

修繕費に関しては、日々のメンテナンスを念入りに行い、大口のメンテナンスを可能な限り先送りにする。

**(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要**

(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

\* (1)において黒字の場合においても、投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

**① 今後の投資についての考え方・検討状況**

\* 処理区ごとに考え方が異なる場合は、処理区ごとに記載すること

広域化・共同化・最適化に関する事項	無し
投資の平準化に関する事項	無し
民間活力の活用に関する事項 (PPP/PFIなど)	無し
その他の取組	無し

**② 今後の財源についての考え方・検討状況**

使用料の見直しに関する事項	平成33年度実施を目標として、利用料金の値上げを検討する。
資産活用による収入増加の取組について	無し
その他の取組	無し

**③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況**

民間活力の活用に関する事項 (包括的民間委託等の民間委託、指定管理者制度、PPP/PFIなど)	無し
職員給与費に関する事項	無し
動力費に関する事項	適正な設備運用により動力費を抑制する。
薬品費に関する事項	適正な維持管理により動力費を抑制する。
修繕費に関する事項	施設建設費の償還終了までの期間の維持管理費は汚水処理サービスを維持することを前提に極力抑える。それゆえ日々のメンテナンスにこれまで以上に取り組む。
委託費に関する事項	現状の委託内容を維持する。
その他の取組	無し

**4. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項**

経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	進捗管理(モニタリング)や見直し(ローリング)等の経営戦略の事後検証、更新等は平成31年度を目標として行う。
---------------------	--

鈴地区漁業集落排水事業 経営比較分析表

単位:千円

科目			実績						
			H23	H24	H25	H26	H27		
処理概要	地区人口	(人)	101	95	92	92	85		
	処理区域面積	(ha)	1	1	1	1	1		
	処理区域内人口	(人)	101	95	92	92	85		
	処理人口(水洗化人口)	(人)	44	40	41	42	40		
	現在晴天時平均処理水量	(m <sup>3</sup> /日)	14	10	10	10	10		
	現在処理能力(晴天時)	(m <sup>3</sup> /日)	43	43	43	43	43		
	年間総処理水量	(m <sup>3</sup> /日)	3,681	3,526	3,526	3,741	3,751		
	年間有収水量	(m <sup>3</sup> /日)	3,681	3,526	3,526	3,741	3,751		
	下水道管敷設延長	(km)	1	1	1	1	1		
	当年度改善管渠延長	(km)	0	0	0	0	0		
歳入	分担金及び負担金	(千円)	0	0	100	0	0		
	使用料及び手数料	(千円)	795	766	789	819	831		
	繰入金(町持出)	(千円)	3,800	3,850	3,750	4,350	4,210		
	繰越金	(千円)	11	68	37	27	13		
	雑収入	(千円)	13	0	14	0	0		
	計	(千円)	4,620	4,685	4,689	5,197	5,054		
歳出	事業費	報奨金	(千円)	10	10	10	10	10	
		旅費	(千円)	0	0	0	0	0	
		需用費	光熱水費他	(千円)	341	344	369	391	353
			修繕費	(千円)	0	96	84	559	448
			計	(千円)	341	440	453	950	802
		役務費	(千円)	314	313	314	322	322	
	委託費	(千円)	567	567	567	583	583		
	その他	(千円)	0	0	0	0	0		
	計	(千円)	1,233	1,330	1,344	1,865	1,717		
	公債費	元金	(千円)	2,421	2,468	2,516	2,564	2,614	
		利子	(千円)	897	850	803	754	705	
		計	(千円)	3,318	3,318	3,318	3,318	3,318	
	予備費	(千円)	0	0	0	0	0		
計	(千円)	4,551	4,648	4,662	5,183	5,035			
収支差引額	歳入一歳出	(千円)	68	37	27	13	19		
実質収支	交付税	(千円)	1,223	1,247	1,271	1,295	1,320		
	交付税一繰入金	(千円)	-2,577	-2,603	-2,479	-3,055	-2,890		
地方債現在高合計	(千円)	56,119	52,801	49,482	46,164	42,846			

経営指標(法非適用企業:下水道事業)

経営の健全性・効率性	収益的収支比率	:①÷(②+③)×100	(%)	101.5	100.8	100.6	100.3	100.4
	① 総収益	(千円)	4,620	4,685	4,689	5,197	5,054	
	② 総費用	(千円)	1,233	1,330	1,344	1,865	1,717	
	③ 地方債償還金	(千円)	3,318	3,318	3,318	3,318	3,318	
	企業債残高対事業規模比率	:①-②÷(③-④-⑤)×100	(%)	6,579.8	6,387.8	5,799.0	5,103.7	4,648.9
	① 地方債現在高合計	(千円)	56,119	52,801	49,482	46,164	42,846	
	② 一般会計負担額	(千円)	3,800	3,850	3,750	4,350	4,210	
	③ 営業収益	(千円)	795	766	789	819	831	
	④ 受託工事収益	(千円)	0	0	0	0	0	
	⑤ 雨水処理負担金	(千円)	0	0	0	0	0	
	経費回収率	:①÷②×100	(%)	64.5	57.6	58.7	43.9	48.4
	① 下水道使用料	(千円)	795	766	789	819	831	
	② 汚水処理費(公費負担分を除く)	(千円)	1,233	1,330	1,344	1,865	1,717	
	汚水処理原価	:①÷②×100	(円/m <sup>3</sup> )	335	377	381	499	458
	① 汚水処理費(公費負担分を除く)	(千円)	1,233	1,330	1,344	1,865	1,717	
	② 年間有収水量	(m <sup>3</sup> )	3,681	3,526	3,526	3,741	3,751	
	施設利用率	:①÷②×100	(%)	32.6	23.3	23.3	23.3	23.3
	① 現在晴天時平均処理水量	(m <sup>3</sup> )	14	10	10	10	10	
	② 晴天時現在処理能力	(m <sup>3</sup> )	43	43	43	43	43	
	水洗化率	:①÷②×100	(%)	43.6	42.1	44.6	45.7	47.1
① 現在水洗便所設置済人口	(人)	44	40	41	42	40		
② 現在処理区域人口	(人)	101	95	92	92	85		
老朽化の状況	管渠改善率	:①÷②×100	(%)	0	0	0	0	0
	① (改善・改良・維持)管渠延長	(km)	0	0	0	0	0	
② 下水道敷設延長	(km)	1	1	1	1	1		



鈴地区漁業集落排水事業 経営比較分析表

単位:千円

科目			実績						
			H23	H24	H25	H26	H27		
処理概要	地区人口	(人)	101	95	92	92	85		
	処理区域面積	(ha)	1	1	1	1	1		
	処理区域内人口	(人)	101	95	92	92	85		
	処理人口(水洗化人口)	(人)	44	40	41	42	40		
	現在晴天時平均処理水量	(m <sup>3</sup> /日)	14	10	10	10	10		
	現在処理能力(晴天時)	(m <sup>3</sup> /日)	43	43	43	43	43		
	年間総処理水量	(m <sup>3</sup> /日)	3,681	3,526	3,526	3,741	3,751		
	年間有収水量	(m <sup>3</sup> /日)	3,681	3,526	3,526	3,741	3,751		
	下水道管敷設延長	(km)	1	1	1	1	1		
	当年度改善管渠延長	(km)	0	0	0	0	0		
歳入	分担金及び負担金	(千円)	0	0	100	0	0		
	使用料及び手数料	(千円)	795	766	789	819	831		
	繰入金(町持出)	(千円)	3,800	3,850	3,750	4,350	4,210		
	繰越金	(千円)	11	68	37	27	13		
	雑収入	(千円)	13	0	14	0	0		
	計	(千円)	4,620	4,685	4,689	5,197	5,054		
歳出	事業費	報奨金	(千円)	10	10	10	10	10	
		旅費	(千円)	0	0	0	0	0	
		需用費	光熱水費他	(千円)	341	344	369	391	353
			修繕費	(千円)	0	96	84	559	448
			計	(千円)	341	440	453	950	802
		役務費	(千円)	314	313	314	322	322	
	委託費	(千円)	567	567	567	583	583		
	その他	(千円)	0	0	0	0	0		
	計	(千円)	1,233	1,330	1,344	1,865	1,717		
	公債費	元金	(千円)	2,421	2,468	2,516	2,564	2,614	
		利子	(千円)	897	850	803	754	705	
		計	(千円)	3,318	3,318	3,318	3,318	3,318	
	予備費	(千円)	0	0	0	0	0		
計	(千円)	4,551	4,648	4,662	5,183	5,035			
収支差引額	歳入一歳出	(千円)	68	37	27	13	19		
実質収支	交付税	(千円)	1,223	1,247	1,271	1,295	1,320		
	交付税一繰入金	(千円)	-2,577	-2,603	-2,479	-3,055	-2,890		
地方債現在高合計	(千円)	56,119	52,801	49,482	46,164	42,846			

経営指標(法非適用企業:下水道事業)

経営の健全性・効率性	収益的収支比率	:①÷(②+③)×100	(%)	101.5	100.8	100.6	100.3	100.4
	① 総収益	(千円)	4,620	4,685	4,689	5,197	5,054	
	② 総費用	(千円)	1,233	1,330	1,344	1,865	1,717	
	③ 地方債償還金	(千円)	3,318	3,318	3,318	3,318	3,318	
	企業債残高対事業規模比率	:①-②÷(③-④-⑤)×100	(%)	6,579.8	6,387.8	5,799.0	5,103.7	4,648.9
	① 地方債現在高合計	(千円)	56,119	52,801	49,482	46,164	42,846	
	② 一般会計負担額	(千円)	3,800	3,850	3,750	4,350	4,210	
	③ 営業収益	(千円)	795	766	789	819	831	
	④ 受託工事収益	(千円)	0	0	0	0	0	
	⑤ 雨水処理負担金	(千円)	0	0	0	0	0	
	経費回収率	:①÷②×100	(%)	64.5	57.6	58.7	43.9	48.4
	① 下水道使用料	(千円)	795	766	789	819	831	
	② 汚水処理費(公費負担分を除く)	(千円)	1,233	1,330	1,344	1,865	1,717	
	汚水処理原価	:①÷②×100	(円/m <sup>3</sup> )	335	377	381	499	458
	① 汚水処理費(公費負担分を除く)	(千円)	1,233	1,330	1,344	1,865	1,717	
	② 年間有収水量	(m <sup>3</sup> )	3,681	3,526	3,526	3,741	3,751	
	施設利用率	:①÷②×100	(%)	32.6	23.3	23.3	23.3	23.3
	① 現在晴天時平均処理水量	(m <sup>3</sup> )	14	10	10	10	10	
	② 晴天時現在処理能力	(m <sup>3</sup> )	43	43	43	43	43	
	水洗化率	:①÷②×100	(%)	43.6	42.1	44.6	45.7	47.1
① 現在水洗便所設置済人口	(人)	44	40	41	42	40		
② 現在処理区域人口	(人)	101	95	92	92	85		
老朽化の状況	管渠改善率	:①÷②×100	(%)	0	0	0	0	0
	① (改善・改良・維持)管渠延長	(km)	0	0	0	0	0	
② 下水道敷設延長	(km)	1	1	1	1	1		

